

ICTで授業をDX!

学年 小学校6年 教科 社会 など

SKY発表ノートを使って交流、ジグソー活動も効果的!

使用するアプリケーション等
SKY CLOUD

単元・題材 縄文のむらから古墳のくにへ

本時の目標 縄文と弥生のむらのくらしの様子に関心を持ち、自主的に調べ・まとめたことをジグソー活動を通して共有し、クロストークで課題を解決することができる。

ICTを活用することで できること

- ・エキスパートグループ学習（縄文・弥生）を行う際に、調べ学習を教科書・資料集だけでなく、より深く行うことができる。
- ・自分が調べたことを、SKY CLOUDの発表ノートで作成することにより、個人の理解が深まる。
- ・発表ノートをグループワークで協働作業することで、同じエキスパートで資料や考えを共有しやすくなるため、グループの資料を容易に作成することができる。苦手意識をもっている児童もその資料を活用し、自信をもって学習することができる。
- ・ジグソー活動をする時、グループで作成した資料を他のグループに、簡単に提示できる。
- ・クロストークを行う時に、決定したことを素早くまとめられ、振り返りの効果が高まる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 つかむ

ジグソー活動のテーマ
「縄文と弥生、どちらがいい時代だったのだろうか?」

自分の考えに必要な資料を、教科書や資料集、学校図書館などで調べる。

2 調べる

- ① エキスパート学習では、自分たちのグループに必要な資料を作成する。
(画用紙などを使う)
- ② グループの資料を、その数だけコピーを作成する。
(8班ある場合は、8部作成する)
- ③ 各エキスパートグループが、別々に作成した紙の資料をもって集まり、発表会を行う。

3 まとめる

- ① 全てのエキスパート学習をした後、クロストークでテーマにせまる。
- ② クロストークの結果をまとめる。
(携帯用のホワイトボードに、マーカーで書きまとめる準備をする)
- ③ 代表が前に出て、発表する。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 つかむ

ジグソー活動のテーマ
「縄文と弥生、どちらがいい時代だったのだろうか?」

- ① 自分の考えに必要な資料を、教科書や資料集、**端末**を用いて調べる。
- ② 自分の考えに必要な資料を、**SKY CLOUDの発表ノート**を用いまとめる。

2 調べる

- ① エキスパート学習では、**SKY CLOUDのグループワーク**で、資料を共有する。
(**端末を使う**)



(マウスで自由に描きやすい)

お米を保存する倉庫に
ねずみをいれないため
柱の上に板を挟んでいる
ねずみがえし

縄文時代の衣服

縄文時代の女の人は、自然にある、植物を縫って作って、よく女の人がつけてる、ポシエットは、縄文では木の皮で作られている。
そして、男は、ズボンだけで、そのズボンは、毛皮で作っていて女の人は、植物なのに、男は、毛皮で作っていて性別ごとにふくがちがいます。



(ノートに調べたことを、写真にとって簡単にはりつけ、まとめられる)

- ② **グループワーク**後、その中から資料を選択して活用する。
(コピーする必要はなく、**すぐにグループの資料を作成できる**)
- ③ 各エキスパートグループが、**端末**を持ち、別々に集まり発表会を行う。

3 まとめる

- ① 全てのエキスパート学習をした後、クロストークでテーマにせまる。
- ② クロストークの結果をまとめる。
(話し合いをしながら、**端末**で打ちながらまとめの準備をする)
- ③ **SKY CLOUDの提出機能**を使って、提出させる。
- ④ **教室のスクリーン**や、**一人一人の端末**に提示する。
- ⑤ 代表が前に出て、発表する。



(提出画面、個人の端末からも見られる)

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・調べ学習時、今までと違い資料が足りなくなることがなく、児童の「個人で調べる時間」が増えた。
- ・児童一人一人が、資料作りに時間を使わなくても良くなったために、児童の「考える時間」が増えた。
- ・児童は、グループの資料を複数作成しなくてもよくなった。
- ・児童は、友達の作成した資料を容易に見ることができるため、自分の考えを容易に深められる。苦手な児童も友達の資料を活用でき、自信をもって話し合いに向かうことができた。